

日本国特許庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

JC903 U.S. PTO
09/864525
05/23/01

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて
いる事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed
with this Office.

出願年月日

Date of Application:

2000年 6月27日

出願番号

Application Number:

特願2000-193457

出願人

Applicant (s):

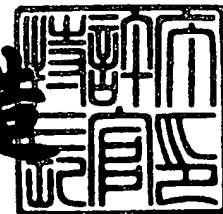
五井野 正

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2000年 7月28日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2000-3059552

BEST AVAILABLE COPY

【書類名】 特許願

【整理番号】 PY20001309

【提出日】 平成12年 6月27日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 17/60

【発明者】

 【住所又は居所】 長野県南安曇郡穂高町有明 7 3 6 2 - 1

 【氏名】 五井野 正

【特許出願人】

 【住所又は居所】 長野県南安曇郡穂高町有明 7 3 6 2 - 1

 【氏名又は名称】 五井野 正

【代理人】

 【識別番号】 100068755

 【住所又は居所】 岐阜市大宮町 2 丁目 1 2 番地の 1

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 恩田 博宣

 【電話番号】 058-265-1810

【選任した代理人】

 【識別番号】 100105957

 【住所又は居所】 東京都渋谷区代々木二丁目 1 0 番 4 号 新宿辻ビル 8 階

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 恩田 誠

 【電話番号】 03-5365-3057

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 002956

 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

 【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 オークション方法、オークションシステム、サーバ及び端末

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 売り手が提示した商品、又は商品を提示した買い手を競り落とすネットワーク上で行われるオークション方法であって、

商品を売買するための取引相手を探す売り手または買い手である探し主が、商品に関する商品関連情報と取引時期に関する取引時期条件とを含む競り情報を、端末からオークション仲介用のサーバに送信し、前記サーバは前記探し主の端末から受信した前記競り情報をネットワークを通じて複数の端末に提供して競りの参加者を募り、端末で前記競り情報の提供を受けた者は自分が提示できる取引時期を含む競り参加情報を提示し、前記サーバは提示された競り参加情報を基に少なくとも取引時期の要素を、落札を決める条件とすることを特徴とするオークション方法。

【請求項 2】 請求項 1 に記載のオークション方法において、

前記参加者は少なくとも取引時期を要素の一つとする複数の要素を含む競り参加情報を提示し、前記サーバは提示された競り参加情報を基に取引時期の要素を含む複数の要素を、落札を決める条件とすることを特徴とするオークション方法。

【請求項 3】 請求項 2 に記載のオークション方法において、

前記競り参加情報は、要素として取引時期と価格を含み、前記サーバは提示された競り参加情報を基に少なくとも取引時期と価格の要素を、落札を決める条件とすることを特徴とするオークション方法。

【請求項 4】 売り手が提示した商品、又は商品を提示した買い手を競り落とすネットワーク上で行われるオークション方法であって、

商品を売買するための取引相手を探す探し主が、商品の売値情報または買値情報を含む商品関連情報と取引時期に関する取引時期条件とを含む競り情報を端末からオークション仲介用のサーバに送信し、前記サーバは前記探し主の端末から受信した前記競り情報をネットワークを通じて複数の端末に提供して競りの参加者を募り、端末で前記競り情報の提供を受けた者は自分が提示できる取引時期を

ネットワークを通じて前記サーバへ送信して競りに参加し、前記サーバは前記探し主が提示した取引時期条件を最も満たす取引時期を提示した参加者に落札させることを特徴とするオークション方法。

【請求項 5】 売り手が提示した商品、又は商品を提示した買い手を競り落とすネットワーク上で行われるオークション方法であって、

商品を買収するための取引相手を探す売り手または買い手である探し主が、商品の売値情報または買値情報を有する商品関連情報を含む競り情報を、端末からオークション仲介用のサーバに送信し、前記サーバは前記探し主の端末から受信した前記競り情報をネットワークを通じて複数の端末に提供して競りの参加者を募り、端末で前記競り情報の提供を受けた者は少なくとも取引時期を要素の一つとする複数の要素を含む競り参加情報をネットワークを通じて前記サーバに提示して競りに参加し、前記サーバは提示された競り参加情報の前記取引時期の要素を含む少なくとも一部を、参加人数分の全てについて、または前記競り参加情報に含まれる複数の要素のうち少なくとも一つの要素を条件として絞り込んだ優先順位上位からの一部の人数分について、ネットワークを通じて前記探し主の端末に送信し、前記探し主は端末上で前記サーバから受信した前記競り参加情報を見てその中から探し主自身が落札相手を選ぶことを特徴とするオークション方法。

【請求項 6】 請求項 5 に記載のオークション方法において、

前記競り情報は前記商品関連情報の他に取引時期に関する取引時期条件を含み、前記サーバは前記参加者の端末から受信した競り参加情報を前記探し主の端末に送信する際に優先順位上位の一部の人数分に絞込むときは、前記複数の要素のうち少なくとも取引時期の要素を条件として絞り込みを行うことを特徴とするオークション方法。

【請求項 7】 請求項 1 ～ 6 のいずれか一項に記載のオークション方法において、

前記取引時期条件は、前記探し主が提示した希望する取引時期をできるだけ満たす落札者を定めるために時間軸をスライドさせる優先規則であることを特徴とするオークション方法。

【請求項 8】 請求項 7 に記載のオークション方法において、

前記優先規則は、前記探し主が指定した基準時よりなるべく早い取引時期を提示した参加者ほど優先する時期前倒し方式であることを特徴とするオークション方法。

【請求項 9】 請求項 7 に記載のオークション方法において、

前記優先規則は、前記探し主が指定した基準時よりなるべく遅い取引時期を提示した参加者ほど優先する時期遅延方式であることを特徴とするオークション方法。

【請求項 1 0】 請求項 7 に記載のオークション方法において、

前記優先規則は、前記探し主が指定した基準時になるべく近い取引時期を提示した参加者ほど優先する時期接近方式であることを特徴とするオークション方法。

【請求項 1 1】 請求項 1 ～ 6 のいずれか一項に記載のオークション方法において、

前記取引時期条件は、前記探し主が複数の取引時期と複数の価格とのうち少なくとも一方を提示したものに対し、取引時期と価格との少なくとも二種の要素の組合せで前記参加者に提示させる条件であることを特徴とするオークション方法。

【請求項 1 2】 請求項 1 1 に記載のオークション方法において、

前記取引時期条件は、時間軸にスライドさせて設定された複数の時期に対し連動してスライドするように価格が設定され、当該予め設定された複数の組合せの中から前記参加者に選択させる条件である時期連動型価格設定方式であることを特徴とするオークション方法。

【請求項 1 3】 請求項 1 ～ 1 2 のいずれか一項に記載のオークション方法において、

前記競り情報には前記取引時期を要素の一つに含む複数の要素の優先度が設定され、前記参加者は前記複数の要素を含む競り参加情報を提示し、前記サーバは、前記参加者の端末から受信した競り参加情報を基に複数の要素のうち優先度の高い順に前記参加者の絞り込みを行うことを特徴とするオークション方法。

【請求項 1 4】 請求項 1 ～ 1 3 のいずれか一項に記載のオークション方法

において、

前記探し主としての売り手が売値情報を含む商品関連情報と、売り手が希望する取引時期条件とを含む競り情報を端末から送信し、前記オークション仲介用のサーバはこの競り情報をネットワークを通じて複数の端末に提供して買い手を募り、端末で前記競り情報の提供を受けた者は自分が提示できる取引時期を端末からネットワークを通じて前記サーバへ送信して競りに参加することを特徴とする時間オークション方法。

【請求項 1 5】 請求項 1 ～ 1 3 のいずれか一項に記載のオークション方法において、

前記探し主としての買い手が商品の買値情報を含む商品関連情報と、買い手が希望する取引時期条件とを含む競り情報を端末から送信し、前記オークション仲介用のサーバはこの競り情報をネットワークを通じて複数の端末に提供して売り手を募り、端末で前記競り情報の提供を受けた者は自分が提示できる取引時期を端末からネットワークを通じて前記サーバへ送信して競りに参加することを特徴とする時間オークション方法。

【請求項 1 6】 請求項 1 ～ 請求項 1 5 のいずれか一項に記載のオークション方法に使用されるオークションシステムであって、

商品を売買するための取引相手を探す売り手または買い手である探し主が、売値情報または買値情報を含む商品関連情報と、探し主が希望する取引時期条件とを含む競り情報を送信するための探し主側の端末と、

前記探し主側の端末から受信した前記競り情報をネットワークを通じて複数の端末で見られるように提供するサーバと、

前記サーバがネットワーク上に提供する前記競り情報の提供を受けた参加者が提示した取引時期を含む競り参加情報をネットワークを通じて前記サーバへ送信する参加者側の端末とを備え、

前記サーバは前記参加者側の端末から受信した競り参加情報を基に前記探し主が提示した取引時期条件を最も満たす取引時期を提示した参加者を取引相手として絞り込む落札決定手段を備えていることを特徴とするオークションシステム。

【請求項 1 7】 請求項 1 ～ 1 5 のいずれか一項に記載のオークション方法

に利用されるオークション仲介用のサーバであって、

商品を売買するための取引相手を探す売り手または買い手である探し主の端末からネットワークを通じて得た売値情報または買値情報を含む商品関連情報と、探し主が希望する取引時期条件とを含む競り情報を送信するとともに、該競り情報をネットワーク上に提供し、

前記競り情報の提供を受けた端末から参加者が提示した取引時間を含む競り参加情報をネットワークを通じて受信し、前記探し主が提示した取引時期条件を最も満たす取引時期を提示した参加者に絞り込む落札決定手段を備えていることを特徴とするオークション用のサーバ。

【請求項 1 8】 請求項 1 ～ 1 5 のいずれか一項に記載のオークション方法において探し主に利用される端末であって、

前記探し主が売値情報または買値情報を含む商品関連情報と、探し主が希望する取引時期条件とを含む競り情報を送信するとともに、該競り情報を受信した前記サーバがネットワーク上に提供した前記競り情報の提供を受けた参加者が端末から前記サーバに送信してきた競り参加情報を基に前記サーバが前記取引時間条件を最も満たす取引時期を提示した参加者に絞り込む段階を経て得られた落札関連情報を前記サーバからネットワークを通じて受信することを特徴とするオークション用の端末。

【請求項 1 9】 請求項 1 ～ 1 5 のいずれか一項に記載のオークション方法において参加者に利用される端末であって、

前記探し主が売値情報または買値情報を含む商品関連情報と、探し主が希望する取引時期条件とを含む競り情報を端末から受信した前記サーバが、ネットワーク上に提供した前記競り情報を受信するとともに、該競り情報の提供を受けた参加者が提示する取引時期を含むとともに前記サーバで前記取引時期条件を最も満たす参加者に絞り込むために用いられる競り参加情報を前記サーバに送信することを特徴とするオークション用の端末。

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】

【発明の属する技術分野】

本発明は、オークションをネットワーク上で行うオークション方法、オークションシステム、サーバ及び端末に関するものである。

【 0 0 0 2 】

【従来の技術】

従来、この種のオークション方法が例えば米国特許 5 7 9 4 2 0 7 号や特開平 1 1 - 3 2 8 2 7 1 号公報などに開示されている。これらのオークション方法はいずれも、最も値段の条件がよかった競りの参加者、つまり通常のオークションであれば売り手にとって最も高値をつけた参加者（買い手）、逆オークションであれば買い手にとって最も安値をつけた参加者（売り手）が落札する方式になっていた。通常、落札者は予め規則等で決められている期日までに取引、つまり商品の引渡しや代金の支払いを終えるようになっている。

【 0 0 0 3 】

【発明が解決しようとする課題】

ところが、オークションに商品の売買を依頼する依頼者にとって、種々の事情から、商品の引渡日や代金の支払日を自分の都合のよい期日に設定したいという要求があった。例えば資金調達のために緊急に、美術品や骨董品を売却したい依頼者にとっては、希望価格で売却できればたとえ高値がつかなくても、できるだけ早く資金を調達したい。また商品を早く手に入れたい者の中には、価格よりも早い取引を最優先に望む場合があった。また商品を仕入れる場合、商品を出荷するまでの保管場所がなく倉庫を借りなければならない場合は、その商品を出荷する直前に商品の入荷日を設定したい。また欲しい商品があるが、お金のできる期日がまだ先である場合は、支払いができるその期日以降でできるだけ早くに商品の入荷を希望するし、支払いより先に商品を引き渡してくれる自分にとって有利な条件を提示してくれる相手がいればその相手と取引をしたい。また現在仕事や遊びで使用している製品を他の購入資金を得るために売却したいと考える者にとっては、希望価格で購入してもらえるのであれば、なるべく遅くまでその製品を使用させてくれる相手と取引をしたかった。

【 0 0 0 4 】

このように商品を売買する相手を探す売り手や買い手には、商品の引き渡し日

や代金の支払日などの取引日について各人の事情に応じた種々の希望があったが、従来のオークション方法ではこのような取引日までは考慮されず落札者が決まっていた。このため、最高値でなくとも満足する取引日を提示してくれる取引相手を探したり、取引日を最優先に取引相手を探したり、最高値が複数人いれば最先の者ではなく取引日の面で最も有利な相手を落札者にすることができないという問題があった。なお、従来、航空券の予約やホテルの予約などに利用されている逆オークションでは、買い手が搭乗日や宿泊日などの時期に関する情報を提示し、売り手はその希望に合う搭乗日や宿泊日などの時期に関する情報を提示するが、これらの時期情報は取引時期ではなく、代金はあくまで落札相手が決める期日までに支払わなければならなかった。

【 0 0 0 5 】

本発明は上記課題を解決するためになされたものであって、その目的は、商品を買取る相手を探す探し主が、商品の引渡日や代金支払日などの取引時期について探し主の事情に応じた希望にかなう取引相手を探し出すことができるオークション方法、オークションシステム、サーバ及び端末を提供することにある。

【 0 0 0 6 】

【課題を解決するための手段】

上記課題を解決するためになされた請求項 1 ～ 1 5 に記載の発明は、売り手が提示した商品、又は商品を提示した買い手を競り落とすネットワーク上で行われるオークション方法の発明である。

【 0 0 0 7 】

請求項 1 に記載の発明では、商品を買取るための取引相手を探す売り手または買い手である探し主が、商品に関する商品関連情報と取引時期に関する取引時期条件とを含む競り情報を、端末からオークション仲介用のサーバに送信し、前記サーバは前記探し主の端末から受信した前記競り情報をネットワークを通じて複数の端末に提供して競りの参加者を募り、端末で前記競り情報の提供を受けた者は自分が提示できる取引時期を含む競り参加情報を提示し、前記サーバは提示された競り参加情報を基に少なくとも取引時期の要素を、落札を決める条件とする。

【 0 0 0 8 】

請求項 2 に記載の発明では、前記参加者は少なくとも取引時期を要素の一つとする複数の要素を含む競り参加情報を提示し、前記サーバは提示された競り参加情報を基に取引時期の要素を含む複数の要素を、落札を決める条件とする。

【 0 0 0 9 】

請求項 3 に記載の発明では、請求項 2 に記載の発明において、前記競り参加情報は、要素として取引時期と価格を含み、前記サーバは提示された競り参加情報を基に少なくとも取引時期と価格の要素を、落札を決める条件とする。

【 0 0 1 0 】

請求項 4 に記載の発明では、商品を売買するための取引相手を探す探し主が、商品の売値情報または買値情報を含む商品関連情報と取引時期に関する取引時期条件とを含む競り情報を端末からオークション仲介用のサーバに送信し、前記サーバは前記探し主の端末から受信した前記競り情報をネットワークを通じて複数の端末に提供して競りの参加者を募り、端末で前記競り情報の提供を受けた者は自分が提示できる取引時期をネットワークを通じて前記サーバへ送信して競りに参加し、前記サーバは前記探し主が提示した取引時期条件を最も満たす取引時期を提示した参加者に落札させる。

【 0 0 1 1 】

請求項 5 に記載の発明では、商品を売買するための取引相手を探す売り手または買い手である探し主が、商品の売値情報または買値情報を有する商品関連情報を含む競り情報を、端末からオークション仲介用のサーバに送信し、前記サーバは前記探し主の端末から受信した前記競り情報をネットワークを通じて複数の端末に提供して競りの参加者を募り、端末で前記競り情報の提供を受けた者は少なくとも取引時期を要素の一つとする複数の要素を含む競り参加情報をネットワークを通じて前記サーバに提示して参加し、前記サーバは提示された競り参加情報の前記取引時期の要素を含む少なくとも一部を、参加人数分の全てについて、または前記競り参加情報に含まれる複数の要素のうち少なくとも一つの要素を条件として絞り込んだ優先順位上位からの一部の人数分について、ネットワークを通じて前記探し主の端末に送信し、前記探し主は端末上で前記サーバから受信した

前記競り参加情報を見てその中から探し主自身が落札相手を選ぶ。

【 0 0 1 2 】

請求項 6 に記載の発明では、請求項 5 に記載の発明において、前記競り情報は前記商品関連情報の他に取引時期に関する取引時期条件を含み、前記サーバは前記参加者の端末から受信した競り参加情報を前記探し主の端末に送信する際に優先順位上位の一部の人数分に絞込むときは、前記複数の要素のうち少なくとも取引時期の要素を条件として絞り込みを行う。

【 0 0 1 3 】

請求項 7 に記載の発明は、請求項 1 ～ 6 のいずれか一項に記載の発明において、前記取引時期条件は、前記探し主が提示した希望する取引時期をできるだけ満たす落札者を決めるために時間軸をスライドさせる優先規則であることを要旨とする。

【 0 0 1 4 】

請求項 8 に記載の発明は、請求項 7 に記載の発明において、前記優先規則は、前記探し主が指定した基準時よりなるべく早い取引時期を提示した参加者ほど優先する時期前倒し方式であることを要旨とする。

【 0 0 1 5 】

請求項 9 に記載の発明は、請求項 7 に記載の発明において、前記優先規則は、前記探し主が指定した基準時よりなるべく遅い取引時期を提示した参加者ほど優先する時期遅延方式であることを要旨とする。

【 0 0 1 6 】

請求項 1 0 に記載の発明は、請求項 7 に記載の発明において、前記優先規則は、前記探し主が指定した基準時になるべく近い取引時期を提示した参加者ほど優先する時期接近方式であることを要旨とする。

【 0 0 1 7 】

請求項 1 1 に記載の発明は、請求項 1 ～ 6 のいずれか一項に記載の発明において、前記取引時期条件は、前記探し主が複数の取引時期と複数の価格とのうち少なくとも一方を提示したものに対し、取引時期と価格との少なくとも二種の要素の組合せで前記参加者に提示させる条件であることを要旨とする。

【 0 0 1 8 】

請求項 1 2 に記載の発明は、請求項 1 1 に記載の発明において、前記取引時期条件は、時間軸にスライドさせて設定された複数の時期に対し連動してスライドするように価格が設定され、当該予め設定された複数の組合せの中から前記参加者に選択させる条件である時期連動型価格設定方式であることを要旨とする。

【 0 0 1 9 】

請求項 1 3 に記載の発明は、請求項 1 ～ 1 2 のいずれか一項に記載の発明において、前記競り情報には前記取引時期を要素の一つに含む複数の要素の優先度が設定され、前記参加者は前記複数の要素を含む競り参加情報を提示し、前記サーバは、前記参加者の端末から受信した競り参加情報を基に複数の要素のうち優先度の高い順に前記参加者の絞り込みを行うことを要旨とする。

【 0 0 2 0 】

請求項 1 4 に記載の発明では、請求項 1 ～ 1 3 のいずれか一項に記載の発明において、前記探し主としての売り手が売値情報を含む商品関連情報と、売り手が希望する取引時期条件とを含む競り情報を端末から送信し、前記オークション仲介用のサーバはこの競り情報をネットワークを通じて複数の端末に提供して買い手を募り、端末で前記競り情報の提供を受けた者は自分が提示できる取引時期を端末からネットワークを通じて前記サーバへ送信して競りに参加する。

【 0 0 2 1 】

請求項 1 5 に記載の発明は、請求項 1 ～ 1 3 のいずれか一項に記載の発明において、前記探し主としての買い手が商品の買値情報を含む商品関連情報と、買い手が希望する取引時期条件とを含む競り情報を端末から送信し、前記オークション仲介用のサーバはこの競り情報をネットワークを通じて複数の端末に提供して売り手を募り、端末で前記競り情報の提供を受けた者は自分が提示できる取引時期を端末からネットワークを通じて前記サーバへ送信して競りに参加することを要旨とする。

【 0 0 2 2 】

請求項 1 6 に記載の発明は、請求項 1 ～ 請求項 1 5 のいずれか一項に記載のオークション方法に使用されるオークションシステムであって、商品を売買するた

めの取引相手を探す売り手または買い手である探し主が、売値情報または買値情報を含む商品関連情報と、探し主が希望する取引時期条件とを含む競り情報を送信するための探し主側の端末と、前記探し主側の端末から受信した前記競り情報をネットワークを通じて複数の端末で見られるように提供するサーバと、前記サーバがネットワーク上に提供する前記競り情報の提供を受けた参加者が提示した取引時期を含む競り参加情報をネットワークを通じて前記サーバへ送信する参加者側の端末とを備え、前記サーバは前記参加者側の端末から受信した競り参加情報を基に前記探し主が提示した取引時期条件を最も満たす取引時期を提示した参加者を取引相手として絞り込む落札決定手段を備えていることを要旨とする。

【 0 0 2 3 】

請求項 1 7 に記載の発明は、請求項 1 ～ 1 5 のいずれか一項に記載のオークション方法に利用されるオークション仲介用のサーバであって、商品を売買するための取引相手を探す売り手または買い手である探し主の端末からネットワークを通じて得た売値情報または買値情報を含む商品関連情報と、探し主が希望する取引時期条件とを含む競り情報を送信するとともに、該競り情報をネットワーク上に提供し、前記競り情報の提供を受けた端末から参加者が提示した取引時間を含む競り参加情報をネットワークを通じて受信し、前記探し主が提示した取引時期条件を最も満たす取引時期を提示した参加者に絞り込む落札決定手段を備えていることを要旨とする。

【 0 0 2 4 】

請求項 1 8 に記載の発明は、請求項 1 ～ 1 5 のいずれか一項に記載のオークション方法において探し主に利用される端末であって、前記探し主が売値情報または買値情報を含む商品関連情報と、探し主が希望する取引時期条件とを含む競り情報を送信するとともに、該競り情報を受信した前記サーバがネットワーク上に提供した前記競り情報の提供を受けた参加者が端末から前記サーバに送信してきた競り参加情報を基に前記サーバが前記取引時間条件を最も満たす取引時期を提示した参加者に絞り込む段階を経て得られた落札関連情報を前記サーバからネットワークを通じて受信することを要旨とする。

【 0 0 2 5 】

請求項 19 に記載の発明は、請求項 1 ～ 15 のいずれか一項に記載のオークション方法において参加者に利用される端末であって、前記探し主が売値情報または買値情報を含む商品関連情報と、探し主が希望する取引時期条件とを含む競り情報を端末から受信した前記サーバが、ネットワーク上に提供した前記競り情報を受信するとともに、該競り情報の提供を受けた参加者が提示する取引時期を含むとともに前記サーバで前記取引時期条件を最も満たす参加者に絞り込むために用いられる競り参加情報を前記サーバに送信することを要旨とする。

【 0 0 2 6 】

【発明の実施の形態】

以下、本発明を具体化した一実施形態を図 1 ～ 図 12 に従って説明する。

図 1 は、ネットワークを介して売り手と買い手が商品のオークションを行うための時間オークションシステムを示す。

【 0 0 2 7 】

時間オークションシステム 10 は、オークション管理システム 20 と、ネットワーク（例えばインターネット）N と、利用者（顧客）用の端末 30 とから構成される。オークション管理システム 20 は、サーバ（Web サーバ）21 と、顧客管理データベース（DB）22、商品管理データベース（DB）23、競り管理データベース（DB）24 とから構成される。なお、サーバ 21 は、Web サーバとアプリケーションサーバとに分けて構成もできる。

【 0 0 2 8 】

図 2 は、オークション管理システム 20 の機能構成図である。オークション管理システム 20 は通信部 41、制御部 42、時間競り演算部 43 および落札絞込演算部 44 を備える。通信部 41、制御部 42、時間競り演算部 43 および落札絞込演算部 44 はサーバ 21 により構成される。通信部 41 は所定の通信手順（HTTP）で動く。また商品管理 DB 23 は競り条件記憶部 45 を備え、競り条件記憶部 45 には時間競りデータ記憶部 45A と絞込データ記憶部 45B が用意されている。制御部 42 および各演算部 43、44 は、時間オークションで落札者を特定するための演算制御などに使用され、この演算に各記憶部 45A、45B に記憶された各種データが使用される。なお、制御部 42、時間競り演算部 4

3 および時間競りデータ記憶部 4 5 A により、落札決定手段が構成される。

【 0 0 2 9 】

サーバ 2 1 には、時間オークションホームページ（HP）（サイト）が置かれ、ネットワーク N を通じて利用者は端末 3 0 からブラウザソフトを用いて画面上に図 3 に示す時間オークション HP を表示させる。利用者は、この HP で必要なデータを入力することでオークションへの登録または参加が可能である。予め利用者登録手続きを済ませた利用者は、時間オークションへの商品の売買依頼またはオークションへの参加が可能である。

【 0 0 3 0 】

時間オークション HP には、図 4 に示す利用者登録画面 P、図 5 に示す商品登録画面 Q、図 8 に示す時間競り方式選択画面 R、希望条件設定画面 S、図 9 に示すスライド価格設定画面 T などの各種画面がリンクされている。サーバ 2 1 のハードディスクには、各種画面 HP、P、Q、R、S、T の画面データ、画面の表示等に用いるプログラム（例えば HTML 記述プログラム）やオークションの演算処理に用いるプログラムが記憶されている。

【 0 0 3 1 】

図 3 に示すように、時間オークション HP にはオークション用の商品別に分類された多数の選択ボタン 5 1 と、逆オークション用の商品別に分類された多数の選択ボタン 5 2 が用意されている。競りに参加を希望する者（参加者）は、希望する商品分類の選択ボタン 5 1、5 2 を選択する。ただし同図では商品分類は一部のみ示している。また利用者登録ボタン 5 3 と商品登録ボタン 5 4 が用意されており、各ボタン 5 3、5 4 を選択することで登録画面 P（図 4）と登録画面 Q（図 5）がそれぞれ表示される。

【 0 0 3 2 】

図 4 に示すように利用者登録画面 P には、売り手・買い手のどちらを希望するかを選択する選択項目 P 1、住所、氏名、電話番号、電子メールアドレス、性別、年齢、備考などを入力するための各種入力欄 P 2 が用意されている。利用者は端末 3 0 A に表示された利用者登録画面 P でこれら全ての項目に必要な事項を入力して OK ボタン 5 4 を選択すると、この利用者登録データ D 1 はネットワーク N

を通じてサーバ 2 1 に送信され、顧客管理 DB 2 2 に格納される顧客管理データに追加される。サーバ 2 1 は所定の手数料の納付を確認すると登録者の端末 3 0 A へ認証番号（ID とパスワード）を送信する。登録者は、時間オークションを利用するときには認証番号を使用する。なお、売り手・買い手のどちらで利用するかは利用者登録時に未定であれば後で登録することもできる。

【 0 0 3 3 】

また図 5 に示すように商品登録画面 Q には、商品分類、商品名、希望価格、数量、品質、保管場所、商品情報などの各種入力欄 Q 1 ～ Q 7 が用意されている。希望価格の入力欄 Q 3 には値幅を設定することもできる。また希望価格については、固定価格、スライド価格、最低価格の 3 種類の中から選択する選択項目 Q 8 が用意されている。ここで、固定価格とは、価格が固定であることを意味する。スライド価格とは、時間軸にスライドするように複数の取引時期を設定し、各取引時期に連動してスライドするように価格を設定することを意味し、例えば製造会社（メーカー）が、新製品の予約注文を受け付けるに当たり、発売日から月日が経過するに連れて価格を段階的に下げて設定し、購入希望者を募るときなどに使用される。また最低価格は、商品を競り落とす際の最低価格を意味し、この項目が選択されたときは競りの参加者は指値を提示する。入力欄 Q 7 は、商品の現在の保管場所を入力（選択）する欄で、その入力項目にはオークション管理業者保管、民間保管機関、売り手側倉庫、製造予定等がある。入力欄 Q 8 には、商品の詳細説明等を入力する。なお、この画面 Q で入力する希望価格が、売値情報または買値情報に相当する。

【 0 0 3 4 】

利用者は端末 3 0 A に表示された商品登録画面 Q で全項目に必要な事項を入力して OK ボタン 5 6 を選択すると、商品関連情報としての商品登録データ D 2 はネットワーク N を通じてサーバ 2 1 に送信されて商品管理 DB 2 3 の商品管理データに追加される。また選択項目 Q 8 で固定価格または最低価格が選択されたときは、次に図 7 の時間競り方式選択画面 R と希望条件設定画面 S が表示される。また選択項目 Q 8 でスライド価格が選択されたときは、次に図 8 のスライド価格設定画面 T が表示される。

【 0 0 3 5 】

図 6 に示すように、時間競り方式選択画面 R には、時間スライド方式を選択するための 6 つの選択項目 R 1 ～ R 6 が用意されている。選択項目 R 1 ～ R 6 には売り手側と買い手側について、それぞれ「期日前倒し方式」、「期日遅延方式」、「期日接近方式」が用意されており、「期日接近方式」にはさらに「期日前」と「期日後」のいずれかを選ぶ選択項目 R 7, R 8 が用意されている。

【 0 0 3 6 】

図 7 は、売り手と買い手別に用意された 4 種類の時間スライド方式の競り内容を説明するものである。同図 (a) の「期日前倒し方式」は、依頼者（探し主）が指定した期日以前でできるだけ早い取引日を提示した者（参加者）が優先的に落札する方式である。指定期日以前の取引日を提示した参加者 A, B, C のうち最も早い取引日を提示した C が落札する。

【 0 0 3 7 】

同図 (b) の「期日遅延方式」は、依頼者が指定した期日以後でできるだけ遅い取引日を提示した者が優先的に落札する方式である。指定期日以後の取引日を提示した参加者 A, B, C のうち最も遅い取引日を提示した C が落札する。

【 0 0 3 8 】

同図 (c) の「期日前接近方式」は、依頼者が指定した期日以前でできるだけ指定期日に近い取引日を提示した者が優先的に落札する方式である。指定期日以前の取引日を提示した参加者 A, B, C のうち最も遅い取引日を提示した C が落札する。

【 0 0 3 9 】

同図 (d) の「期日後接近方式」は、依頼者が指定した期日以後でできるだけ指定期日に近い取引日を提示した者が優先的に落札する方式である。指定期日以前の取引日を提示した参加者 A, B, C のうち最も遅い取引日を提示した C が落札する。なお、いずれの時間競り方式の場合も、最も優先される取引日に落札人数枠を超える人数の参加者が競合した場合（例えば図 9 に示すように落札枠一人のところに優先される取引日に 2 人の参加者 C, D が競合した場合）は、後述する所定のルールを基に落札者を絞り込むようになっている。

【 0 0 4 0 】

また図 6 に示す希望条件設定画面 S には、指定期日（基準時）、支払、商品引渡および競り期間の各入力欄 S 1 ～ S 4 と、参加者側からの条件提示を可とするか不可とするかを選択する選択項目 S 5 が用意されている。入力欄 S 1 には時間スライド方式で基準時となる期日を指定する。

【 0 0 4 1 】

取引が成立すると依頼者と落札者の双方で代金支払と商品引渡がなされるが、入力欄 S 2, S 3 は、落札者の提示した取引日を、支払や商品引渡の際における何の日付とするかの依頼者の具体的な希望を設定する欄である。「支払」の入力欄 S 2 は依頼者が売り手のときに入力可能となり、「商品引渡」の入力欄 S 3 は依頼者が買い手のときに入力可能となる。

【 0 0 4 2 】

「支払」の入力欄 S 2 では取引日を、入金日（口座）、銀行振込日、現金発送日、集金日、電子マネー支払日、分割初回支払日、頭金支払日などの複数の項目のうちのどれにするかを選択する。また「商品引渡」の入力欄 S 3 では取引日を、入荷日、商品発送日、譲渡証発行日、権利証書移転日、契約日、入居日（住宅等の場合）、名義書替日などの複数の項目のうちのどれにするかを選択する。これら各項目については、図示はしないが取引日を基準とした時期、例えば取引日から何日目、取引日から何日以内（何週間以内）などの設定も可能である。依頼者である売り手または買い手は、支払や商品引渡について各人の事情に応じた希望する具体的内容や詳細期日（期間）を設定し、特に入金や入荷の希望期日があるときなどはこのような取引日を競りの対象とすることで依頼者にとって有利な取引日を提示してくれる取引相手を探し出す。これが時間オークションシステムの主要なメリットの 1 つである。

【 0 0 4 3 】

また図 8 に示すようにスライド価格設定画面 T には、複数（この例では 3 つ）の期間を設定するための各入力欄 T 1 と、それら複数の期間に対して価格を設定するための各入力欄 T 2 と、競り期間の入力欄 T 3 が用意されている。各入力欄 T 1 には時間軸に対して段階的にスライドさせた期間（第 1 ～ 第 3 期間）を設定す

る。各入力欄 T 2 には各期間に連動してスライドするように各期間に対応する価格を設定する。例えば製造会社（メーカー）が、新製品の予約注文をこの価格スライド設定型の時間オークションで受け付けて、発売初期の注文の集中を分散させたり、競り結果に基づく売れ行き予測による生産計画の見直しなどに利用される。また製造会社に限らず、多数の商品を売買したい依頼者が商品の売買を円滑に進めるため、または 1 つの商品（例えば発売日からの時間の経過とともに価値の薄れる商品（書籍や音楽 C D 等））を取引時期に合った適切な価格で売買したいときに価格スライド設定型を利用する。なお、価格スライド設定型でも、依頼者の希望を提示でき、例えば商品が 1 つしかない場合、期間・価格についての複数の組合せの全てに参加者がついて、依頼者が希望する 1 つの組合せについた参加者のみ優先的に落札させる優先規則や、各期間毎に落札者を決めるための優先規則の設定もできるようになっている。なお、図 5 の画面 R、S で設定する項目のうち競り期間以外の項目が取引時期条件に相当し、図 8 の画面 T で設定する項目のうち競り期間以外の項目が取引時期条件に相当する。そして競り条件データ D 3 が競り情報に相当する。

【 0 0 4 4 】

図 9 は時間オークションの登録処理手順、図 1 0 は期日スライド式時間オークションの処理手順、図 1 1 は価格スライド設定型時間オークションの処理手順をそれぞれ示すフローチャートである。

【 0 0 4 5 】

はじめに図 9 に示す時間オークション登録処理手順について説明する。

まずステップ（以下単に「S」と記す）1 0 において、利用者登録（顧客登録）をする（図 4）。S 2 0 では、商品登録をする（図 5）。

【 0 0 4 6 】

S 3 0 では、時間スライド方式と価格スライド設定型のどちらが選択されたかを判断する。図 5 の商品登録画面 Q 中の選択項目 Q 8 で、固定価格または最低価格が選択されたときは時間スライド方式が選択されたと認識し、図 6 の時間競り方式選択画面 R が表示される。また選択項目 Q 8 でスライド価格が選択されたときは価格スライド設定型が選択されたと認識し、図 8 のスライド価格設定画面 T

が表示される。

【 0 0 4 7 】

S 4 0 では、時間スライド方式を選定する（図 6）。売り手と買い手はそれぞれ図 6 の画面 R に表示される 4 種類の時間競り方式、つまり期日前倒し方式、期日遅延方式、期日前接近方式、期日後接近方式の 4 種類の中から一つを選択する。なお、この例では時間競りの基準時を期日としているが、基準時は、時間、分、秒、週、月、年の単位で設定する機能を採用することもできる。そしてこのとき 4 種類の中から選択した時間スライド方式の基準時となる期日を、図 6 の入力欄 S 1 に設定する。

【 0 0 4 8 】

S 5 0 では、支払または商品引渡について取引日の意味する具体的な内容を詳細設定する。例えば依頼者が売り手であり取引日を入金日としたいときは入力欄 S 2 で「入金」を選択する。また依頼者が買い手であり取引日を入荷日としたいときは入力欄 S 3 で「入荷」を選択する。

【 0 0 4 9 】

S 6 0 では、選択項目 S 5 で絞込み条件を設定する。例えば資金調達を早くしたい売り手にとっては、入金日さえ確保されれば希望価格よりもより高い値段で買ってくれる取引相手に落札されることが有利であるし、また商品をできるだけ長く手元に置いておきたい売り手にとっては支払日より遅い商品引渡日を提示してくれる取引相手に落札されることが有利である。そこで、取引日で落札枠人数を超える複数の参加者が競合した場合、依頼者にとってより有利な条件を提示してくれる参加者に絞り込むための情報を参加者に提示してもらうため、画面 S の「参加者からの条件提示」の項目で「可」を選ぶ。そして依頼者が売り手であれば参加者（買い手）に提示してもらう情報として例えば「価格」と「商品引渡日」の項目を選択し（図 6 参照）、また依頼者が買い手であれば参加者（売り手）に提示してもらう情報として例えば「価格」と「支払日」の項目を選択する。

【 0 0 5 0 】

一方、価格スライド設定型が選択された場合は、S 7 0 において、図 8 のスライド価格設定画面 T でスライド期間を設定する。例えば第 1 期間～第 3 期間の 3

期間を設定する。なお、スライド期間の設定数は3期間以下に限らず、4期間以上の設定も可能である。またスライド期間は年、月、週、日、時、分、秒のうちの任意の時間単位で設定できる。

【0051】

次のS80では、スライド価格を設定する。すなわち、先に設定した各期間に連動してスライドするように各期間に対応する価格を設定する。価格スライド設定型は、例えば製造会社（メーカー）が新製品の注文予約や売れ行き予測をするために時間オークションを利用するとき使用される。スライド期間としては、新製品の発売期と、製品の人気落ち出す販売中期と、次期新製品が出る前の販売終期を設定し、各期間別のスライド価格としてそれぞれ標準価格、値引価格（例えば1割引）、処分価格（例えば3割引）を設定する。メーカーにとっては発売日から長期注文予約ができることで生産計画が立ち易く、また注文結果から売れ行き予測をして生産計画の見直しに役立てることが可能である。

【0052】

S90では、競り期間を設定する。時間スライド方式では図6の画面Sで競り期間が設定され、価格スライド設置型では図8の画面Tで競り期間が設定される。画面S、TでOKボタン57、58を選択し、ここまでのデータを送信する。

【0053】

S100では、手数料を納付する。また商品が高価で一定価格を超える場合は、手数料に加え証拠金を支払う。

S110では、手数料（証拠金含む）の納付が確認されれば、時間オークションを開始する。つまり時間オークションHPにアクセスすれば商品やその売買条件がネットワークNを介して端末30の画面で見られるようになり、売り手が提供した商品が競りにかけられ、あるいは商品の購入条件を提示した買い手が逆競りにかけられる。また、このとき受信した競り条件データは時間スライド方式や価格スライド設定型に関するものが時間競りデータ記憶部45Aに記憶され、絞込みに使われる絞込条件データが絞込データ記憶部45Bに記憶される。

【0054】

次に時間オークションに参加する方法を説明する。

図 3 に示す時間オークション H P (図 3) には、有価証券、不動産、分譲マンション、チケット、新製品、骨董・美術品など商品毎に分類されており、競りに参加を希望する商品のボタン 5 1, 5 2 をクリックすると、図 9 に示す商品一覧画面 U が表示される。なお、ボタン 5 1 はオークション用、ボタン 5 2 は逆オークション用である。

【 0 0 5 5 】

商品一覧画面 U には、商品の写真 U 1, 商品コード番号の他に、商品名, 希望価格, 数量などの商品関連情報と、時間オークション方式, 希望取引日 (期日), 競り期間などの競り条件情報とが各商品毎に表示される。図 9 の商品一覧画面 U は逆競りの場合も同じ形式で表示される。商品一覧画面 U には商品毎に参加ボタン 5 9 が用意されているので、競りに参加する場合は参加ボタン 5 9 を選択する。ボタン 5 9 を選択すると競り参加画面 V が表示される。

【 0 0 5 6 】

図 9 に示すように競り参加画面 V には、商品コード番号, 商品名, 希望価格, 取引日の詳細定義 (ここでは「入金」), 時間オークション方式 (ここでは「期日前倒し」), 期日などの商品競り条件情報 V 1 が表示されるとともに、入力欄 V 2 ~ V 5、取引数量の入力欄 (図示省略) が用意されている。この画面 V は買い手用画面で、取引日に用意された支払の選択項目 V 3 には、売り手が入金を希望する場合は「入金」のみ入力できる。また条件提示用の入力欄 V 4, V 5 は売り手が参加者からの条件提示を条件としている場合に表示され、条件提示をする場合は、条件提示の選択項目 V 6 で「する」を選択した後、入力欄 V 4, V 5 に提示できる条件 (価格と商品引渡日の少なくとも一方) を入力する。そしてこの画面 V で O K ボタン 6 0 を選択すると、競りデータがサーバ 2 1 に送信され、競り管理 D B 2 4 に格納される。サーバ 2 1 は端末 3 0 B から送信されてきた競りデータを基に落札候補を決める演算を逐次行う。なお、競りデータが競り参加情報に相当する。

【 0 0 5 7 】

次に、期日スライド式時間オークションの処理手順について、図 2, 図 1 1 を用いて説明する。

まず S 2 1 0 においては、競りの応募があったか否かを判断し、応募があれば S 2 2 0 で、新規に応募された競りデータを含む全ての競りデータを、期日スライド方式の時間条件を満たす優先順に配列する演算処理を行い、参加者を優先順に配列した優先リストを作成する。詳しくは制御部 4 2 は、新規の競りデータを受信すると、商品管理データベース 2 3 内の時間競りデータ記憶部 4 5 A から時間条件データ（ここでは時間スライド方式の条件）を読み込むとともに、競り管理データベース 2 4 からこの商品コード番号に関する全ての競りデータを読み込み、これらのデータを用いて時間競り演算部 4 3 が各データ中の取引日を時間条件に照らし合わせて比較する演算を行い、優先順に参加者を配列した優先リストを作成する。そして時間条件を最も満たす取引日を提示した参加者を落札候補に選定する。

【 0 0 5 8 】

依頼者（例えば売り手）は、自分の端末 3 0 A で競り状況を画面で確認し、希望する取引日を提示する落札候補が現れれば、競り期間終了前であっても落札の指示をサーバ 2 1 に送信する。また依頼者が競り状況を画面で確認しても競り参加者がいなかったり、希望する条件を提示する参加者がなかなか現れなかった場合は、競り期間終了前でも競り条件（期日（期間）、価格など）を変更する。

【 0 0 5 9 】

S 2 3 0 において、依頼者から落札指示を受信した場合は、S 2 7 0 に進む。また S 2 4 0 において、依頼者の端末 3 0 A から競り条件変更の指示を受信した場合は、競り条件記憶部 4 5 に記憶する競り条件データを変更する。そして依頼者の端末 3 0 A から落札指示がない限り、S 2 6 0 で競り期間の終了の判断をするまで S 2 1 0 ～ S 2 6 0 の処理手順を繰り返し、競り参加者を募る。そして S 2 6 0 において、競り期間の終了を確認すると、S 2 7 0 に進む。

【 0 0 6 0 】

S 2 7 0 では、落札候補数が落札枠人数を超過したか否かを判断する。落札候補数の超過であると判断したときは、S 2 8 0 で絞込処理を行う。

S 2 8 0 の絞込処理は、制御部 4 2 が、商品管理 DB 2 3 内の絞込データ記憶部 4 5 B から絞込条件データを読み込むとともに、競り管理 DB 2 4 からこの商品

コード番号に関する全ての競りデータを読み込み、これらのデータを用いて落札絞込演算部 4 4 が演算を行い、落札候補の中から落札者を絞り込む。そして S 2 9 0 において、落札結果を依頼者および落札者の各端末 3 0 に通知する。その後の取引契約は依頼者と落札者の二者の間で取り交わされる。

【 0 0 6 1 】

次に、価格スライド設定型時間オークションの処理手順について、図 2，図 1 2 を用いて説明する。

図 9 と同じ形式の競り参加画面 V（但し入力項目は一部異なる）で、入力欄 V 2，V 4 に希望する期間と価格の組合せを選択するなど、必要な提示内容を入力して OK ボタン 6 0 を選択すると、競りデータがサーバ 2 1 に送信される。競りデータは競り管理 DB 2 4 に格納される。

【 0 0 6 2 】

まず S 3 1 0 においては、競りの応募があったか否かを判断し、応募があれば S 3 2 0 で、新規に応募された競りデータを含む全ての競りデータを、各期間毎に落札優先順に配列する演算処理を行い、優先リストを作成する。詳しくは制御部 4 2 は、新規の競りデータを受信すると、商品管理 DB 2 3 内の時間競りデータ記憶部 4 5 A から時間競り条件データ（ここでは価格スライド設定型の条件）を読み込むとともに、競り管理 DB 2 4 からこの商品コード番号に関する全ての競りデータを読み込み、これらのデータを用いて時間競り演算部 4 3 が各データ中に提示された取引日を比較演算し、各期間毎に参加者を優先順に配列する優先リストを作成する。そして時間条件を最も満たす取引日を提示した参加者を落札候補に選定する。但し、依頼者の指定した期間のみが時間条件である場合は、競り受け付けの早い順番で優先リストを作成する。この場合は参加者全員が落札することになる。

【 0 0 6 3 】

依頼者（例えば売り手であるメーカー等）は、自分の端末 3 0 で競り状況を画面で確認し、予定数の落札候補数が確保されれば、競り期間終了前であっても落札の指示をサーバ 2 1 に送信する。また依頼者が競り状況を画面で確認しても競り参加者が少なかった場合は、競り期間終了前でも競り条件（期間、価格）を変

更する。

【 0 0 6 4 】

S 3 3 0 において、依頼者から落札指示を受信した場合は、S 3 7 0 に進む。
また S 3 5 0 で依頼者から競り条件変更指示を受信した場合は、競り条件記憶部 4 5 に記憶する競り条件データ（期間や価格）を変更する。そして依頼者から落札指示がない限り、S 3 6 0 で競り期間終了と判断するまで、S 3 1 0 ～ S 3 6 0 の処理手順を繰り返し、競り参加者を募る。

【 0 0 6 5 】

そして S 3 6 0 において、競り期間の終了を確認すると、S 3 7 0 で集計データを使って例えば商品の売れ行き予測の分析をする。そして S 3 8 0 で落札候補数が落札枠人数より多い超過であるか否かを判断する。落札候補数の超過であると判断したときは、

S 3 9 0 の絞込処理は、時間競り演算部 4 3 が演算して作成した優先リストを基に上位から落札枠人数を落札者として絞り込む。そして S 4 0 0 において、落札結果を落札者の端末 3 0 B に通知するとともに、依頼者の端末 3 0 A には落札結果および必要に応じて集計データやその分析結果を通知する。その後、依頼者と落札者の間で取引契約が取り交わされる。

【 0 0 6 6 】

また価格スライド設定型オークションのやり方として、売り手は段階的な期間のみを提示し、買い手が各期間から選んだ一つの期間と価格（買値）を提示する競り方式をとることもできる。さらに他のやり方として、売り手は段階的な価格のみを提示し、買い手が各価格から選んだ一つの価格と取引日を提示する競り方式をとることもできる。もちろん、買い手が価格スライド設定型時間オークションの依頼者になることもできる。

【 0 0 6 7 】

従って、この実施形態によれば以下の効果が得られる。

（１）依頼者が取引時期条件を提示して取引時期を競りの対象として商品や買い手を競り落とす時間オークションを採用したので、依頼者が商品引渡日や代金支払日などの取引時期について依頼者各人の事情に応じた希望にかなう取引相手

を探し出すことができる。

【 0 0 6 8 】

(2) 時間スライド方式を採用したので、依頼者にとってできるだけ有利な取引日を提示した参加者を取引相手とすることができる。また4種類の時間スライド方式を用意したので、期日に対して時間軸をスライドさせる方法を依頼者の事情に応じて4種類の中から選択できるので、依頼者にとって有利な取引日を提示した取引相手を探し出すことができる。

【 0 0 6 9 】

(3) 価格スライド設定型を採用したので、期間と価格の組合せからみて希望にかなう取引相手を探し出すことができる。例えば発売日から時間が経過するにつれて人気が薄れて価値が下がる商品（書籍や音楽CD等）を、時期に応じた適切な価格で売買することができる。また企業が新製品の注文予約を募るために価格スライド設定型を利用すれば、発売日の予約の集中を分散し易く、また競り結果の集計データやその分析結果の提供を受けることで売れ行き予測ができ、これを生産計画の見直しに役立てられる。

【 0 0 7 0 】

(4) 参加者側から条件を提示できるようにしたので、参加者が競合した場合でも、取引時期以外の価格などの他の要素を基に依頼者にとって有利な取引相手を絞り込むことができる。また参加者にとっても、他の参加者より有利に立てる条件を提示する機会が与えられることによって、欲しい商品や買い手を落札し易くできる。

【 0 0 7 1 】

なお、実施形態は前記に限定されず、例えば次の態様で実施してもよい。

・ 取引時期が最優先されることに限定されない。例えば図13に示すように依頼者が落札を決める条件の要素の優先順位を設定する落札優先順位設定画面Wを用意してもよい。設定画面Wには複数の入力欄W1～W4が用意されており、例えば図6の画面R、Sと共に用いる。依頼者は落札者を決めるうえで優先する要素の順位を登録しておき、例えば画面WでOKボタン61を選択すると、サーバ21へ優先条件データD5が送信される。例えば入力欄W1に「取引日」、入

力欄W 2に「価格」を設定しておけば、取引日が最優先されてこのとき同じ取引日で複数人が競合したときに優先順位 2 番目以下の価格などの要素を基に絞込みが行われ、依頼者の希望する優先順位に応じた有利な取引相手が特定される。また例えば入力欄W 1に「価格」、入力欄W 2に「取引日」を設定した場合は、価格が最優先されてこのとき同じ価格で複数人が競合したときに優先順位 2 番目以下の取引日などの要素を基に絞込みが行われ、依頼者の希望する優先順位に応じた有利な取引相手が特定される。この場合も取引時期は考慮されるため、依頼者は取引日についても有利な条件を提示する取引相手を探すことができる。なお、優先順位に設定する要素としては、取引日や価格以外に数種の要素が用意されている。

【 0 0 7 2 】

・ サーバ 2 1 が落札者を決定する方法に限定されない。例えばサーバ 2 1 は、参加者から提示された情報をそのままリストにして、あるいは参加者から提示された情報を基に落札候補上位者を例えば依頼者が指定した一定人数以内に絞り込んだ優先リストにして、依頼者側の端末 3 0 A に送信する。そして依頼者側の端末 3 0 A には図 1 4 に示すようなリスト画面 X が表示される。この画面 X にはリスト X 1、落札者選択用の入力欄 X 2、OK ボタン 6 2 が用意されている。リスト X 1 には、優先順位番号、コード番号、取引日（参加者提示日）、参加者提示条件（価格、商品引渡日等）が示されている。依頼者はこの画面 X のリスト X 1 の中から取引日などの提示条件を検討して自分にとって有利な落札者を決定し、入力欄 X 2 に例えば落札者の優先順位番号を入力し、OK ボタン 6 2 を選択する。すると、サーバ 2 1 は依頼者と落札者に落札の旨を通知をする。このように依頼者側の端末 3 0 A でリスト X 1 を見ることであれば、依頼者は入金提示日が同じであっても取引日以外の価格など他の要素で有利な条件を提示してくれる相手を選ぶことができ、また取引日が少し遅くても価格や商品引渡日の面で譲歩してくれる相手を選ぶことができる。

【 0 0 7 3 】

・ 商品関連情報には、価格情報は必須ではない。例えば商品のみ、あるいは商品とその品質のみで、商品関連情報が商品についての価格以外の情報のみであ

ってもよい。例えば美術品や骨董品などは、売り手自身が商品の価値が分からず競りで価格を見極めたい場合があり、また買い手自身は商品の値段よりも商品を手に入れたいという欲求が高く、価格そのものは副次的な価値しかもたずこのように取引上において価格を競り条件の一つに入れる場合は、競り合い相手の力によって成り行きの状態によって変動して必ずしも適切な評価や取引ができない場合には、むしろ価格を競り条件として提示しない方がよいからである。

【 0 0 7 4 】

- 商品関連情報が売値情報または買値情報を含む場合、その売値情報または買値情報は、売値（または買値）のみだけでなく、売値（または買値）の条件、例えば最低価格（または最高価格）や価格範囲（価格幅）、さらに条件別に段階的に設定された複数の売値や買値の範囲などであっても構わない。

【 0 0 7 5 】

- 取引時期条件は、期日スライド方式などのような優先規則に限らず、例えば取引時期（例えば希望取引日）そのものの指定が条件であってもよい。

- 価格スライド設定型のように依頼者が取引時期と価格の両方を提示する方法に限定されない。例えば依頼者が複数の取引時期（期間）を提示し、参加者がその複数の取引時期の中から1つを選んでそれに価格を設定して競りに参加する方法でもよい。また、例えば依頼者が複数の価格を提示し、参加者がその複数の価格の中から1つを選んでそれに取引時期を設定して競りに参加する方法でもよい。この場合、依頼者は参加者が取引時期を設定することができる許容期間（例えば製造会社であれば発売日以降、商品を手元に置いておきたい期間以後など）を提示し、この許容期間が取引時期条件となる。例えば売れ行き予測目的で製造会社が競りを依頼する場合、例えば許容期間は発売日以降とする。

【 0 0 7 6 】

- 図 1 4 の方法を採用する場合、取引時期条件は予めサーバ側のホームページにおいて依頼者の依頼内容を入力するために用意された画面に、取引時期（取引日等）の提示を参加者に求めるか否かを選択するのみの選択項目であってもよく、探し主は参加者が提示した取引期日を端末 3 0 A の画面上で見て落札者を決める。さらに探し主は取引時期条件を必ずしも提示する必要はなく、サーバが競

りの参加者を募るときにの参加者に提供する画面に予め参加者に取引時期についての情報の提示を求める設定になっていて、取引時期の提示の要求は依頼者が設定するのではなく、サーバ側の設定によりなされる方法でもよい。この場合も、探し主は参加者が提示した取引時期を比較して落札者を決めることができる。

【 0 0 7 7 】

・ 参加者の提示情報を基に行う調査は売れ行き予測に限定されない。参加者が提示した競り参加情報を基に商品に関して調査する調査内容は、商品の稀少調査、商品の相場（値打ち）調査または商品流通調査などであってもよい。

【 0 0 7 8 】

・ 商品は、取引の対象となるものであれば何でもよい。有形・無形に拘わらない。その一例のカテゴリーとしては、例えば(1)商品・サービス分野、(2)情報・コンテンツ分野、(3)アイデア・知的財産権分野などが挙げられる。(1)商品・サービス分野には、チケット、旅券、ホテル、ローン、金融、保険、証券、住宅、不動産、自動車、二輪車、書籍、音楽、生活雑貨、食料品、化粧品、コンピュータ、ゲーム、オークション、中古品、電話、ビジネスサプライ、バイオ、医薬品、エネルギー、資源などの小カテゴリーが挙げられる。(2)情報・コンテンツ分野には、就職、転職、業務の外部委託、在庫処分、リサイクル、情報コンテンツ、出会い、交際情報、教育、セミナー、広告、取引業者紹介、人的ネットワーク、クレーム処理、リスク管理などの小カテゴリーが挙げられる。(3)アイデア・知的財産権分野には、アイデア、ビジネス企画、著作物、知的財産権などの小カテゴリーが挙げられる。

【 0 0 7 9 】

本明細書で使用される用語は以下の定義で使用する。

・ 「取引時期」：取引の契約が取り交わされる時期に限らず、支払日、商品受け渡し日などのように実際に取引が行われる日を含む広い概念である。

・ 取引時期の「時期」：年、月、週、日、時、分、秒の時間単位で特定される時期、また時間の幅をもつ期間を含む概念である。

【 0 0 8 0 】

上記実施形態等から把握できる請求項以外の技術的思想を以下に記載する。

(1) 請求項 2 又は 3 の発明において、前記サーバは提示された競り参加情報を基に取引時期の要素を最優先して落札を決めることを特徴とするオークション方法。

(2) 請求項 1 3 において、前記競り情報には前記複数の要素のうち前記取引時期が最優先されるように設定され、前記サーバは、前記参加者の端末から受信した競り参加情報を基に前記取引時期条件を最も満たす取引時期を提示した参加者が落札枠人数に絞られなかった場合は、当該参加者を取引時期以外の要素でさらに絞り込むことを特徴とするオークション方法。

(3) 請求項 1 3 において、前記競り情報に設定される前記複数の要素の優先度は、前記探し主が提示することを特徴とするオークション方法。

(4) 請求項 1 0 の発明において、前記優先規則は、前記探し主が指定した基準時以後で最も該基準時に近い取引時期を提示した参加者ほど優先する時期接近方式であることを特徴とするオークション方法。

(5) 請求項 1 0 の発明において、前記優先規則は、前記探し主が指定した基準時以前で最も該基準時に近い取引時期を提示した参加者ほど優先する時期接近方式であることを特徴とするオークション方法。

(6) 請求項 8 の発明において、前記優先規則は、前記探し主が指定した期日よりなるべく早い取引日を提示した参加者ほど優先する期日前倒し方式であることを特徴とするオークション方法。

(7) 請求項 9 の発明において、前記優先規則は、前記探し主が指定した期日よりなるべく遅い取引日を提示した参加者ほど優先する期日遅延方式であることを特徴とするオークション方法。

(8) 請求項 1 0 の発明において、前記優先規則は、前記探し主が指定した期日になるべく近い取引日を提示した参加者ほど優先する期日接近方式であることを特徴とするオークション方法。

(9) 請求項 1 0 の発明において、前記優先規則は、前記探し主が指定した期日になるべく近い取引日を提示した参加者ほど優先する期日接近方式であることを特徴とするオークション方法。

(10) 前記(4)の技術的思想において、前記優先規則は、前記探し主が指定

した期日以後で最も該期日に近い取引日を提示した参加者ほど優先する期日接近方式であることを特徴とするオークション方法。

(11) 前記(5)の技術的思想において、前記優先規則は、前記探し主が指定した期日以前で最も該期日に近い取引日を提示した参加者ほど優先する期日接近方式であることを特徴とするオークション方法。

(12) 請求項1～4のいずれか一項の発明において、前記商品関連情報に含まれる前記売値情報または買値情報は希望価格であって、前記参加者は価格以外の要素で少なくとも取引時期を要素の一つに含む競り参加情報を端末から前記サーバに送信し、前記サーバは提示された競り参加情報を基に前記取引時期条件を最も満たす取引時期を提示した参加者に落札することを特徴とするオークション方法。

(13) 請求項1～15のいずれか一項の発明において、前記参加者が提示した競り参加情報を基に商品に関する調査をしてその調査情報を、前記探し主に提供することを特徴とするオークション方法。

(14) 前記(13)の技術的思想において、前記参加者が提示した競り参加情報を基に商品に関して調査する調査内容は、商品の売れ行き予測であることを特徴とするオークション方法。

(15) 請求項16又は17に記載の前記サーバは、前記落札決定手段により参加者が落札枠人数に絞られなかった場合は、前記競り情報を構成する複数の要素のうち前記取引時期以外の要素で絞り込みを行う絞り込手段(42, 44, 45B)を備えている。

【0081】

【発明の効果】

以上詳述したように請求項1～19に記載の発明によれば、少なくとも取引時期の要素を落札を決める条件とするので、商品を売買する相手を探す探し主が、商品引渡しや代金支払いなどの取引時期について探し主の事情に応じた希望にかなう取引相手を探し出すことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 一実施形態における時間オークションシステムの概略構成図。

【図 2】 オークション管理システムの機能構成図、

【図 3】 時間オークションのホームページ図。

【図 4】 利用者登録についての説明図。

【図 5】 商品登録についての説明図。

【図 6】 依頼者側の希望条件設定についての説明図。

【図 7】 時間スライド方式の説明図で、（a）は期日前倒し方式、（b）は期日遅延方式、（c）は期日前接近方式、（d）は期日後接近方式である。

【図 8】 価格スライド設定型の設定についての説明図。

【図 9】 参加者側の設定についての説明図。

【図 10】 登録処理手順のフローチャート。

【図 11】 期日スライド式時間オークションのフローチャート。

【図 12】 価格スライド設定型時間オークションのフローチャート。

【図 13】 落札優先順位設定についての説明図。

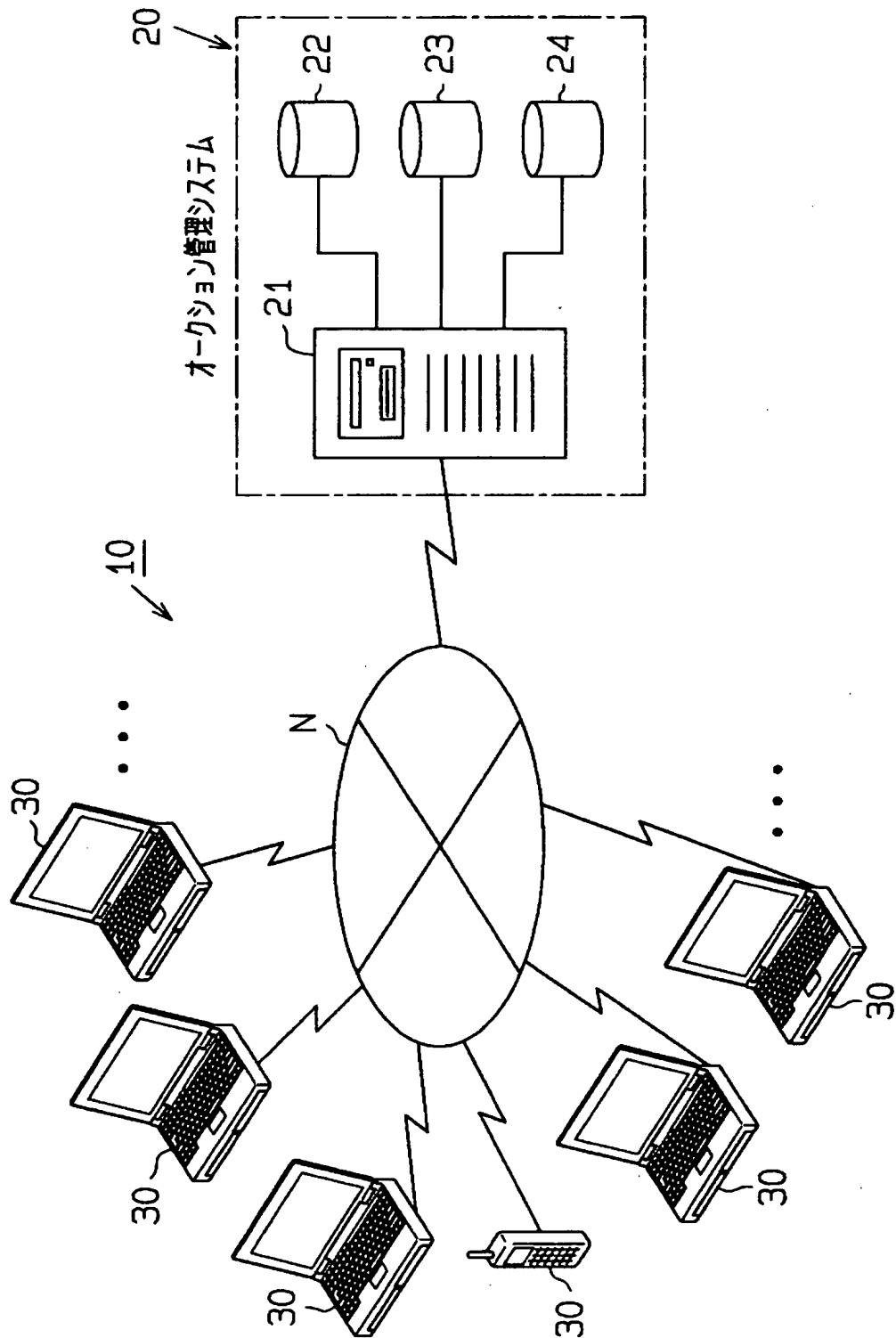
【図 14】 リスト画面図。

【符号の説明】

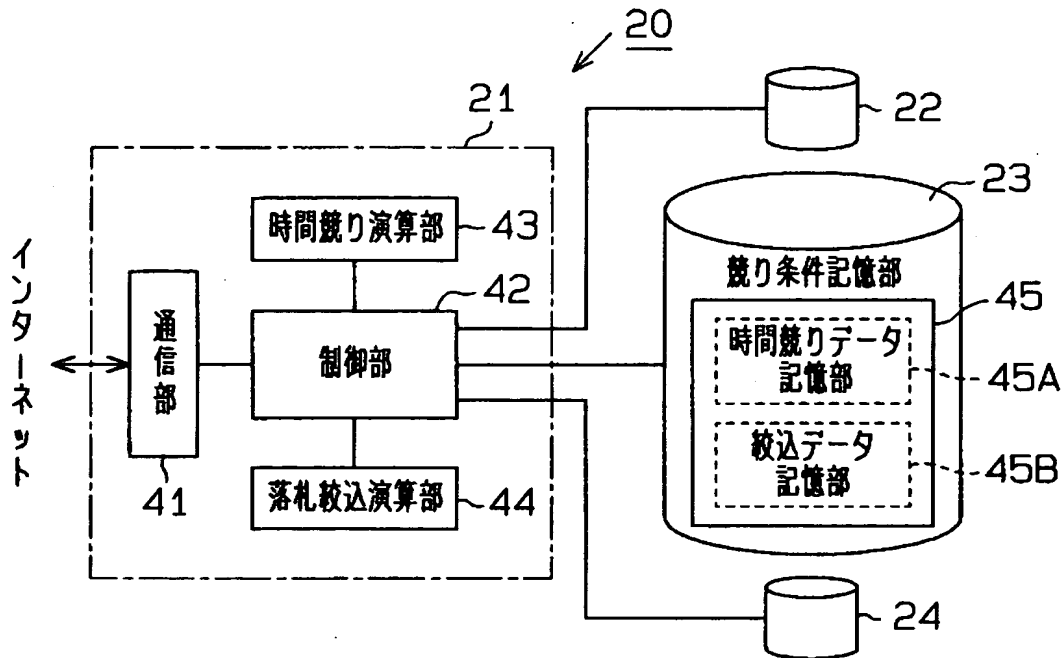
10…オークションシステムとしての時間オークションシステム、20…サーバとしてのオークション管理システム、21…サーバを構成するサーバ、22、24…サーバを構成するデータベース、23…サーバおよび落札決定手段を構成する商品管理データベース、42…落札決定手段を構成する制御部、43…落札決定手段を構成する時間競り演算部、44…落札絞込演算部。

【書類名】 図面

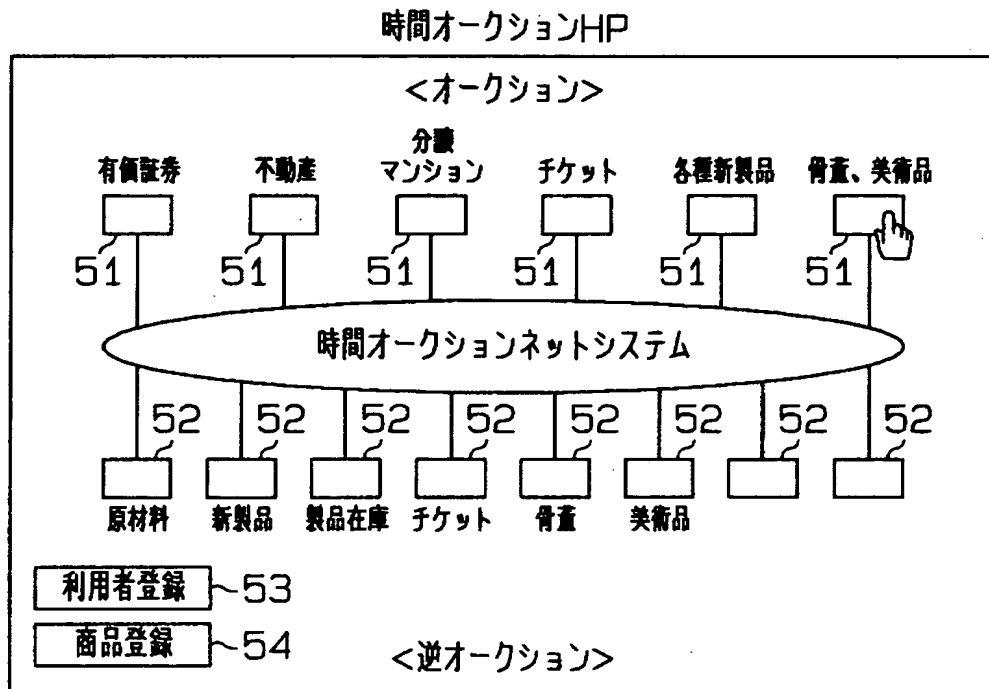
【図 1】



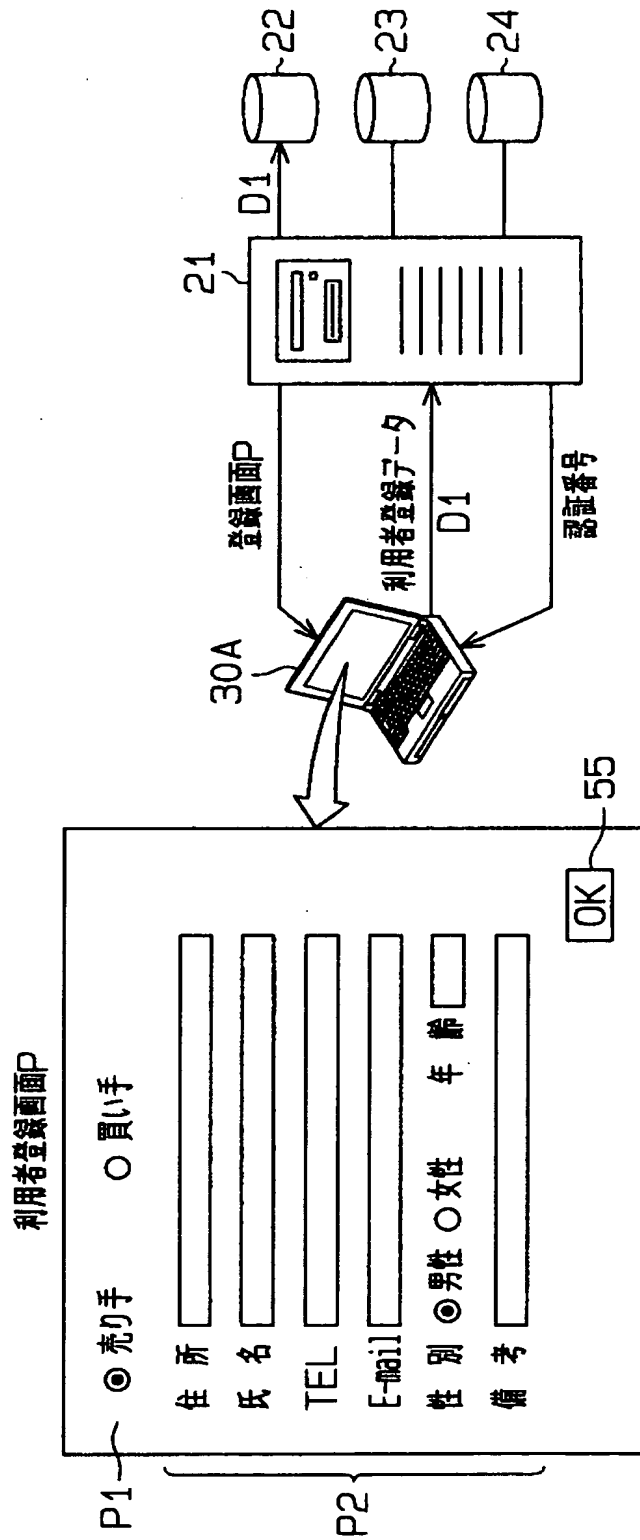
【図 2】



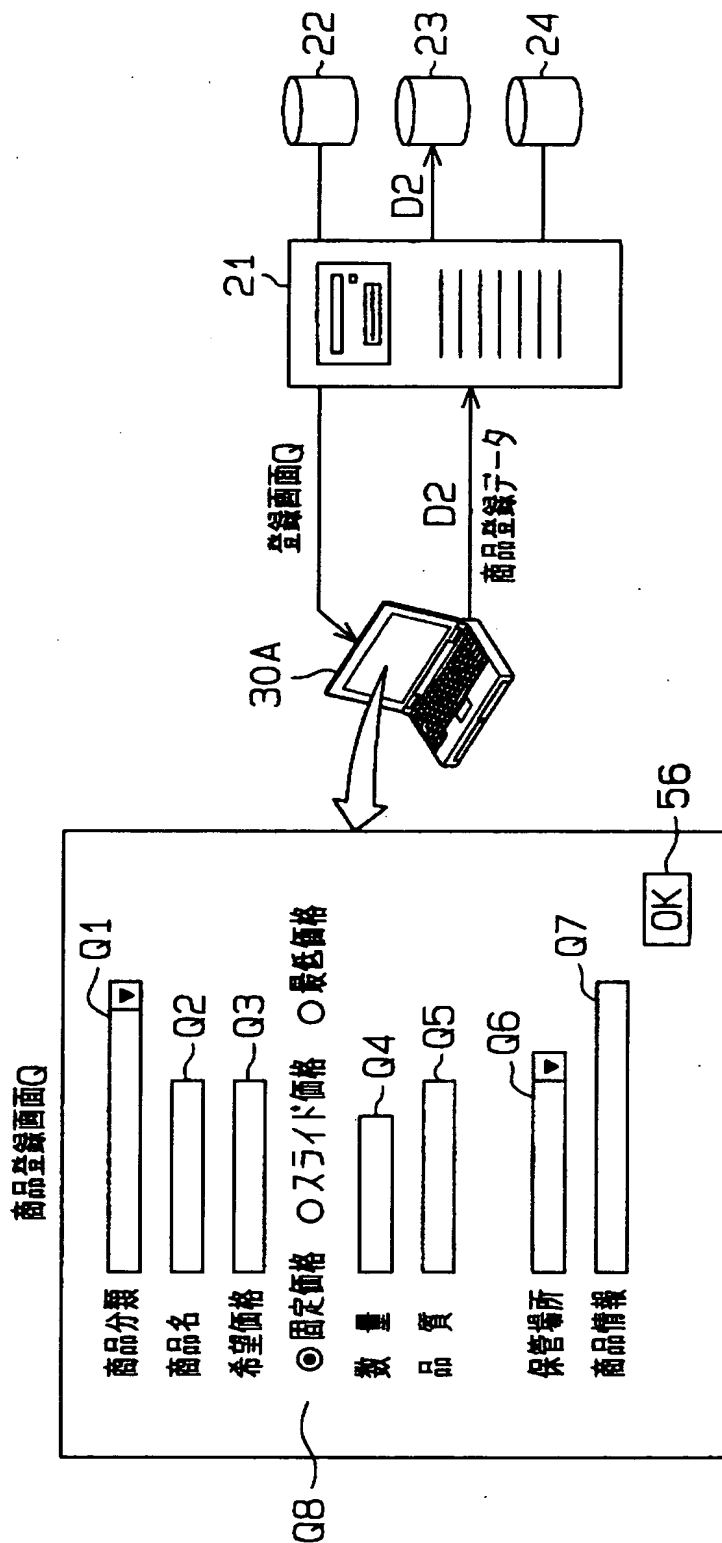
【図 3】



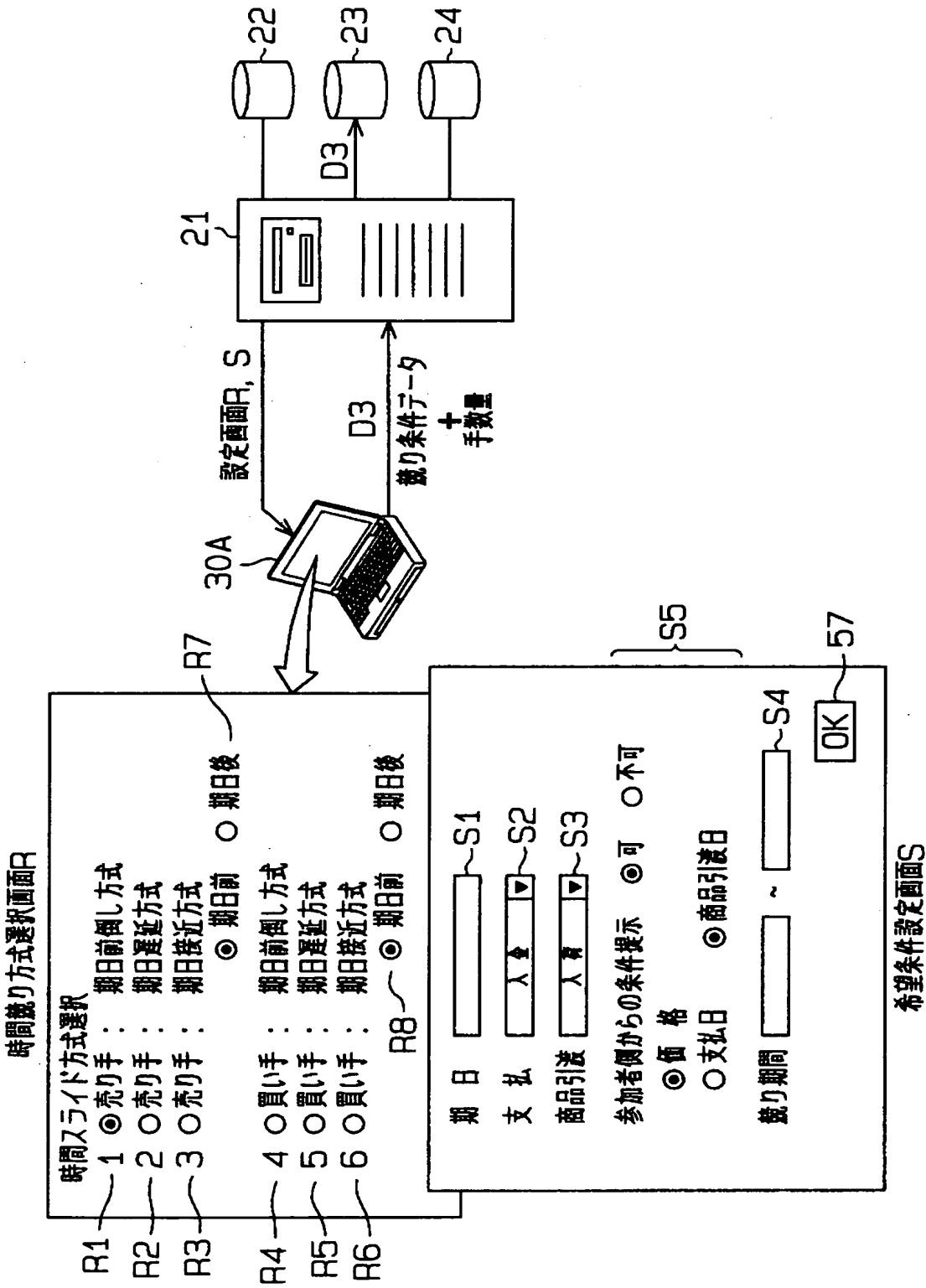
【図 4】



【図 5】

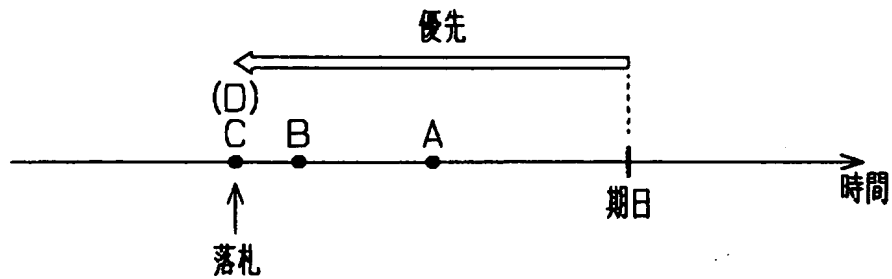


【図 6】

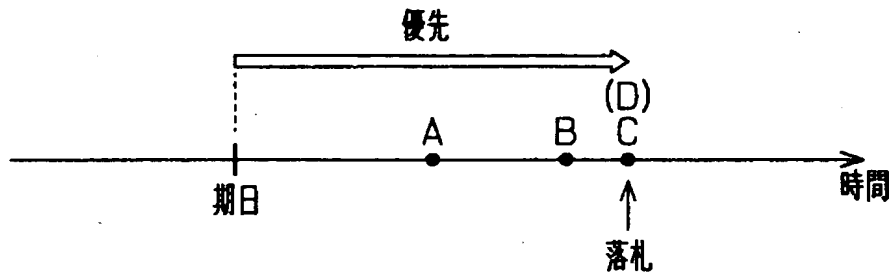


【図 7】

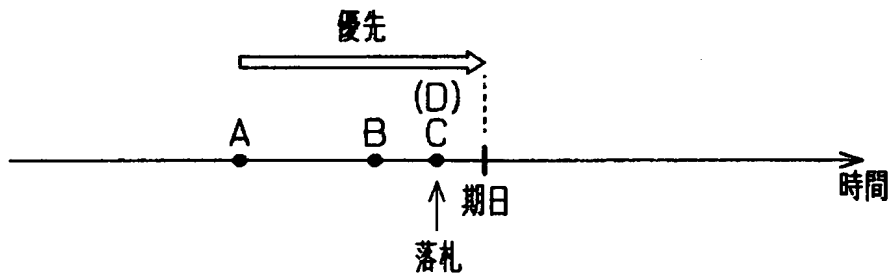
(a) 期日前倒し方式



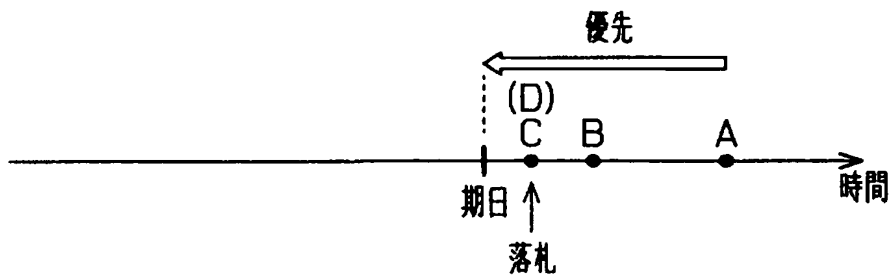
(b) 期日遅延方式



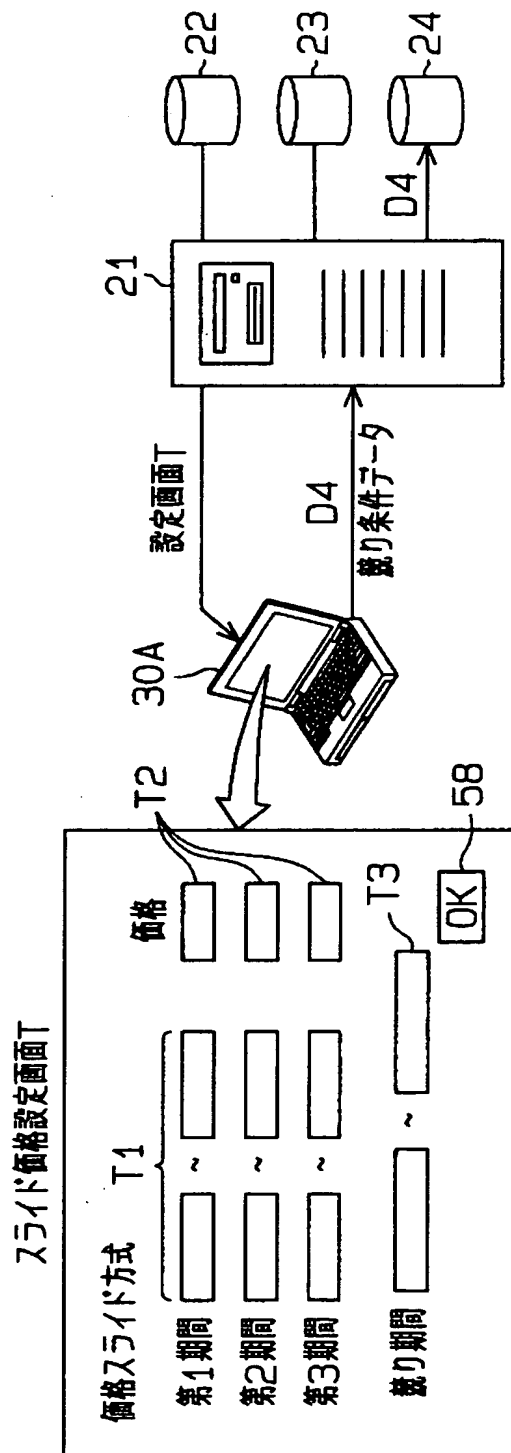
(c) 期日前接近方式



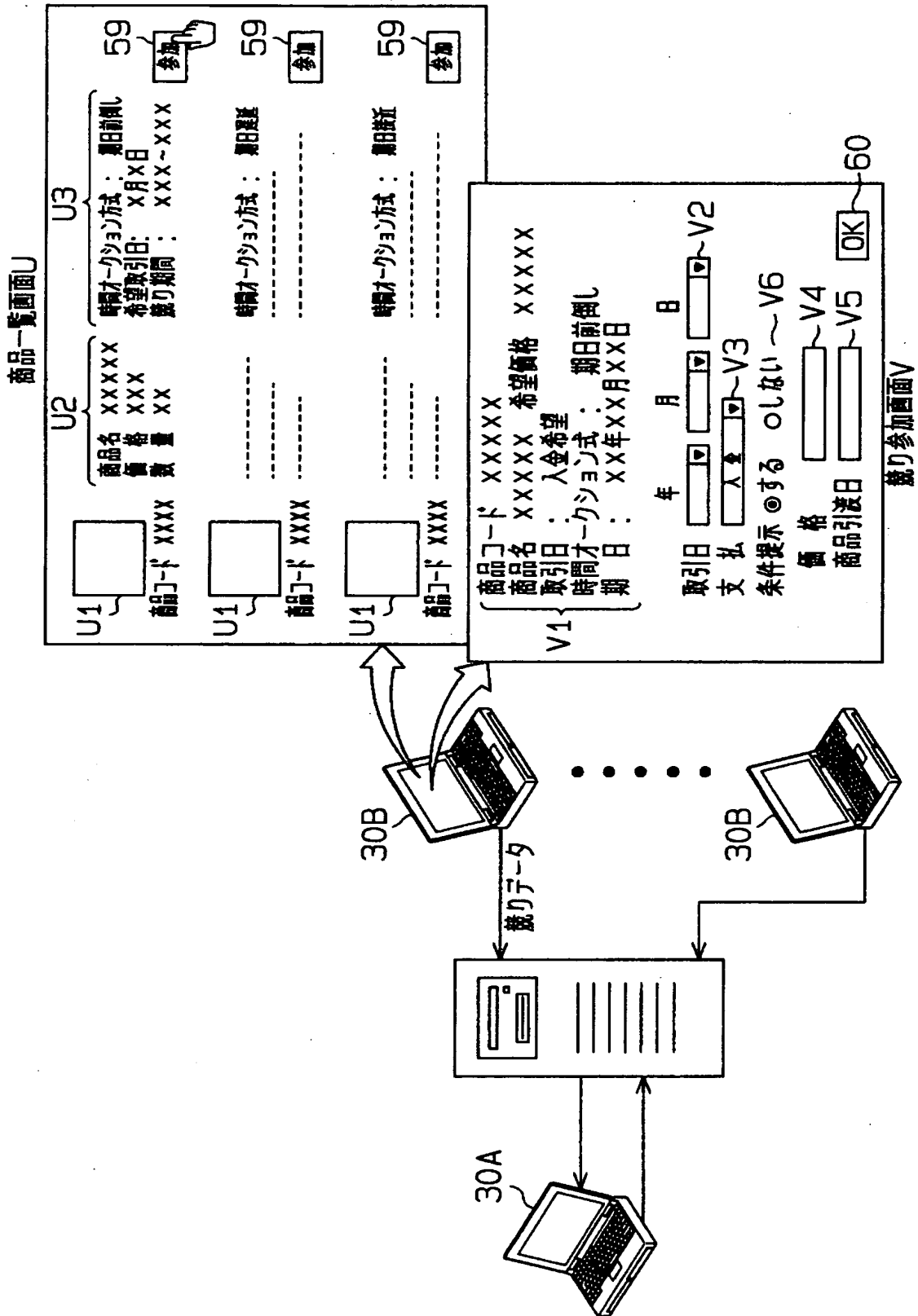
(d) 期日後接近方式



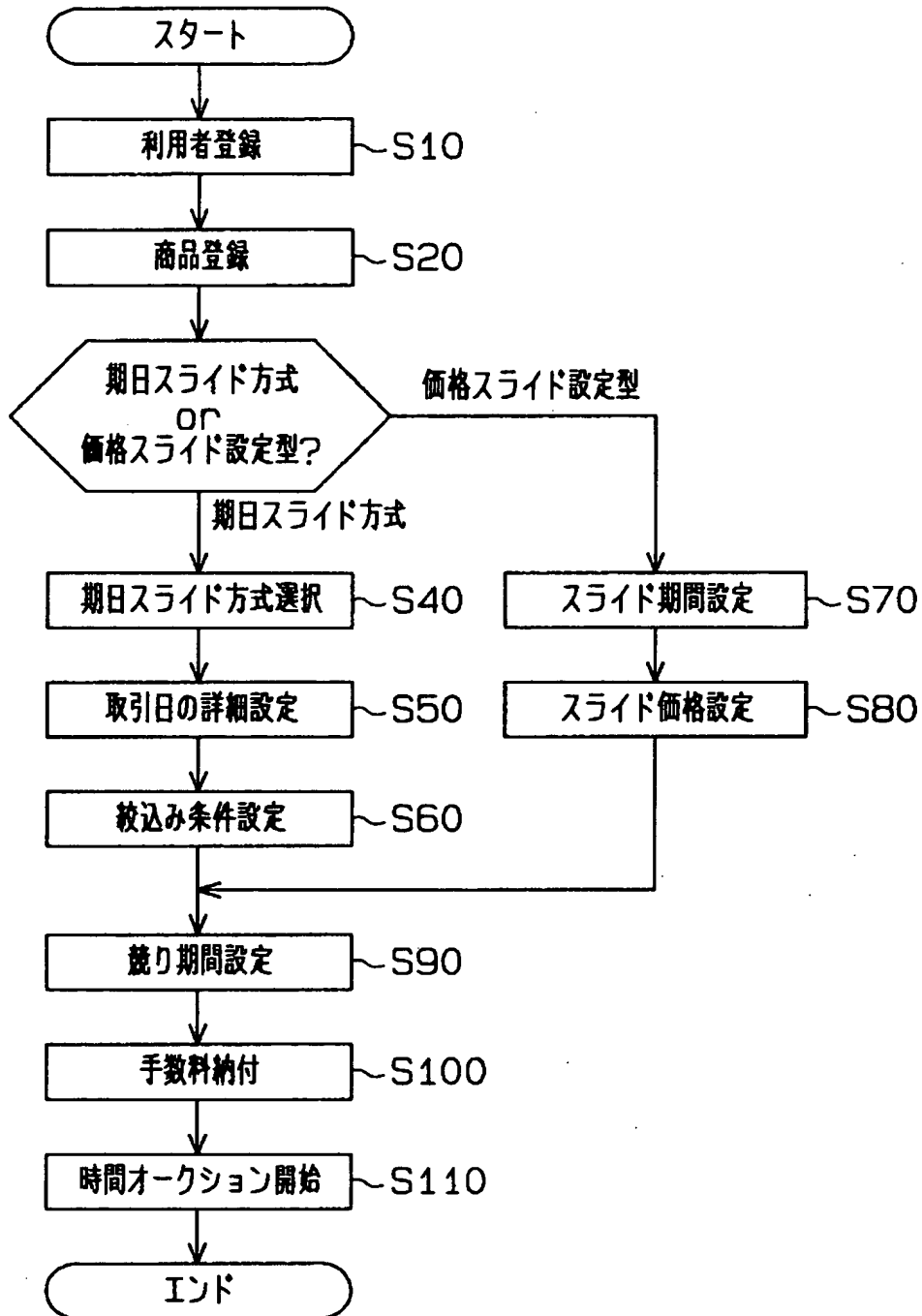
【図 8】



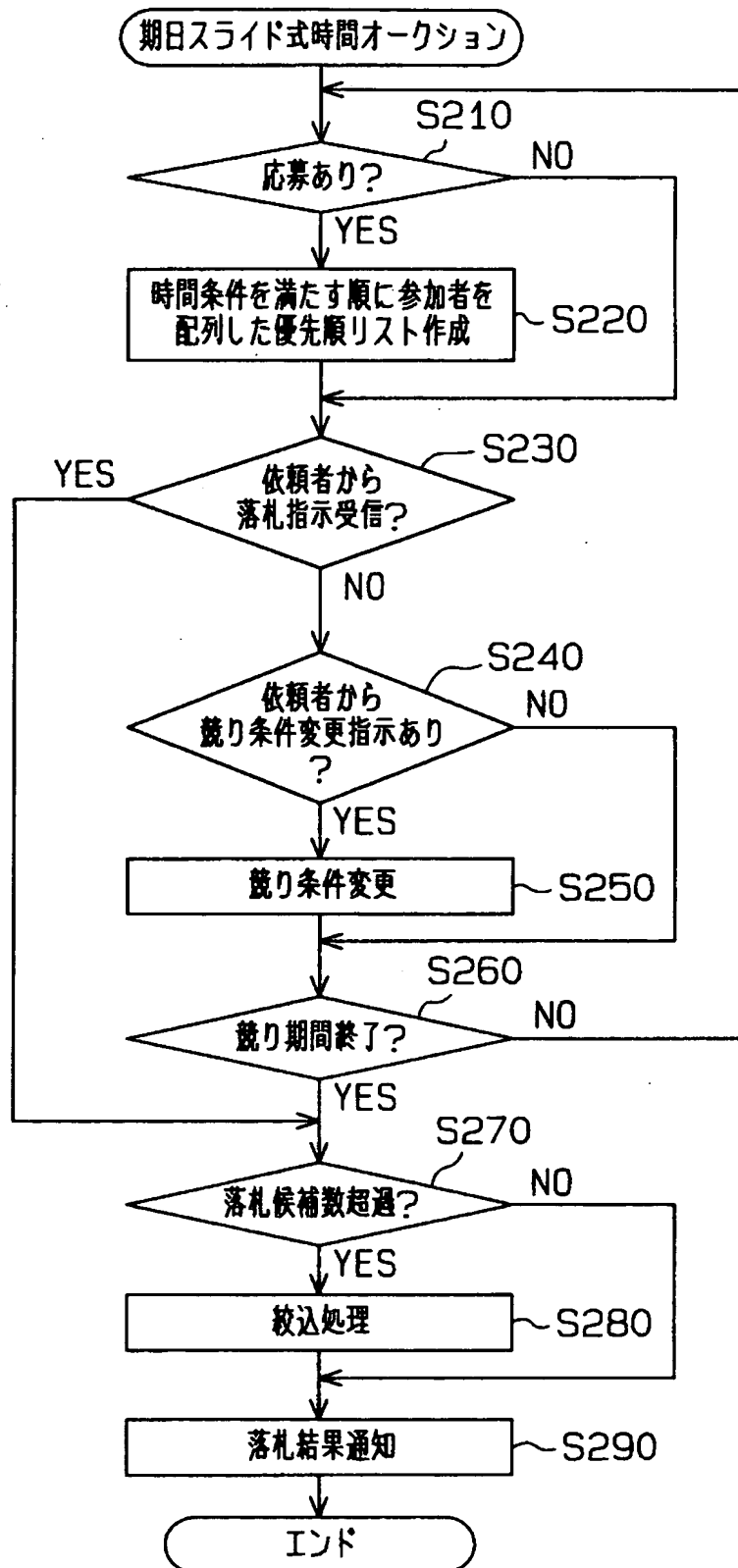
【図9】



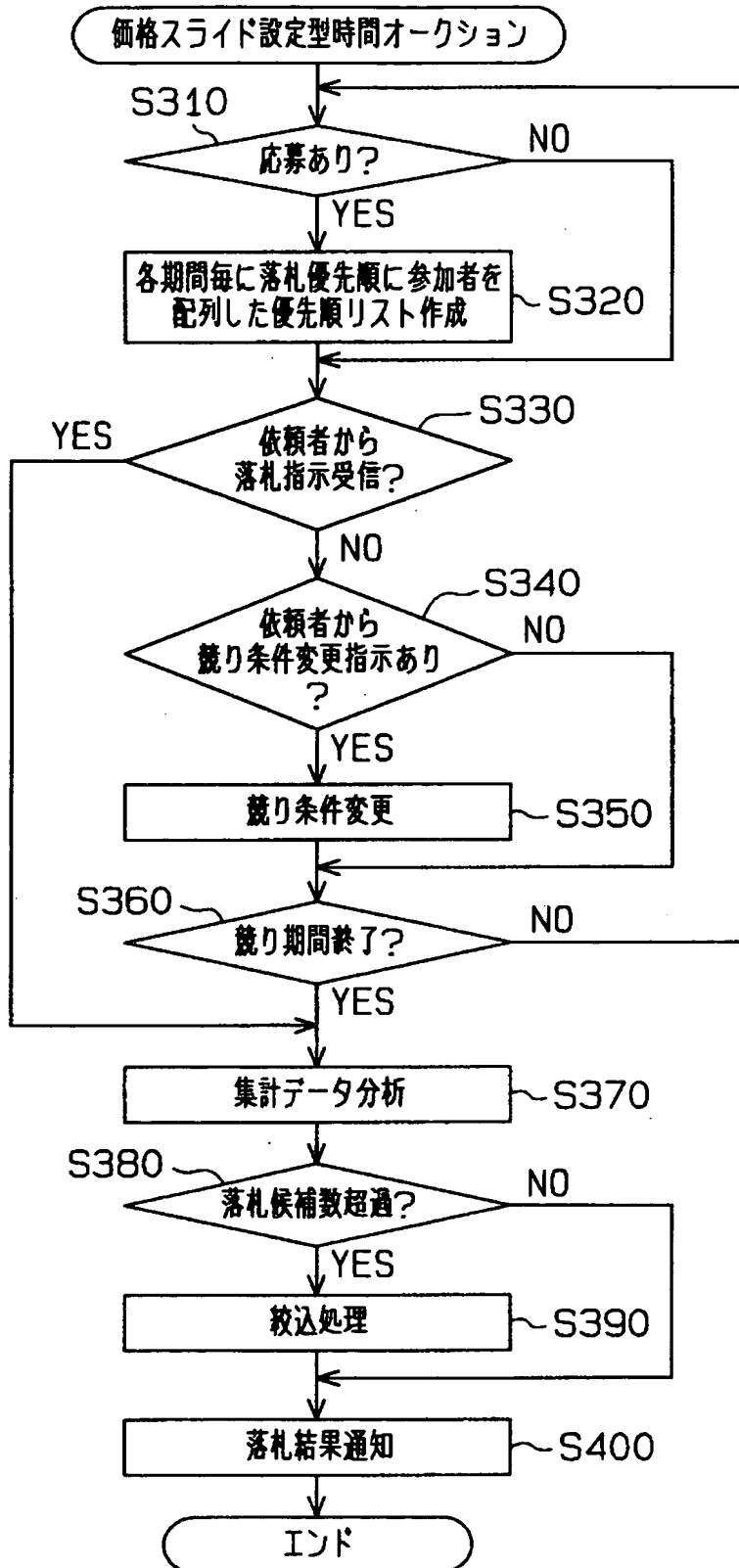
【図 1 0】



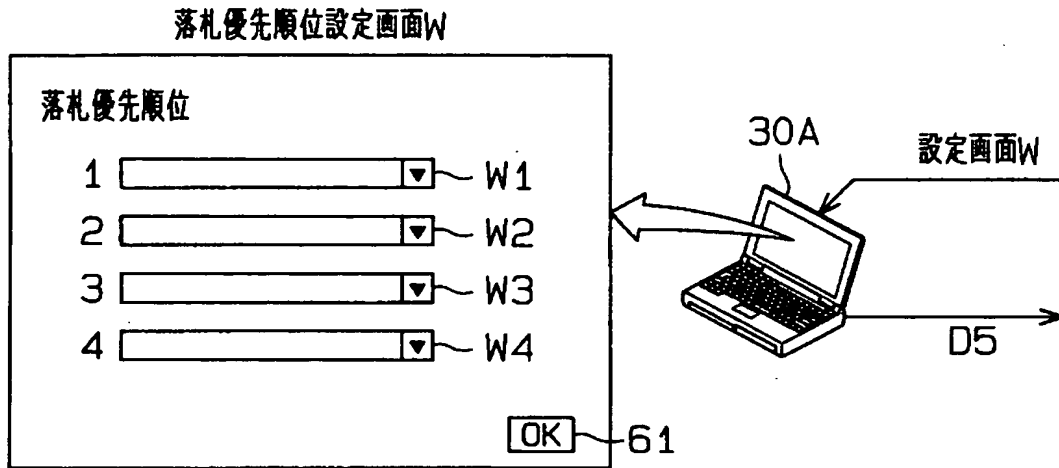
【図 1 1】



【図 1 2】



【図 1 3】



【図 1 4】

リスト画面X

リストX1

NO	コード番号	取引日	参加者提示条件			
			価 格		商品引渡日	
1	00080	6月20日	xxxxx	入金	6月20日	発送
2	00079	6月20日	xxxxx	入金	6月20日	発送
3	00078	6月20日	xxxxx	入金	6月20日	入荷
4	00077	6月20日	xxxxx	入金	6月25日	発送
5	00076	6月20日	xxxxx	入金	6月20日	入荷
6	00075	6月20日	xxxxx	入金	7月 1日	発送
7	00074	6月19日	xxxxx	入金	6月19日	発送
.
.
.

落札者選択

NO. X2

OK 62

【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 ネットワーク上で行われるオークションにおいて、商品を売買する相手を探す探し主が、商品引渡しや代金支払などについて探し主の希望にかなう取引時期を提示してくれる取引相手を探し出す。

【解決手段】 オークション依頼者は端末 3 0 A から時間スライド方式 R 1 ～ R 6 のうちから希望する 1 つを選択するとともに入力欄 S 1 に期日を入力する。例えば期日前倒し方式は、期日よりもできるだけ早い取引日を提示した者が落札する方式である。また支払または商品引渡しについて相手に望む取引日の具体的な内容（入金や入荷等）を指定する。これらの競り条件データはネットワークを通じてサーバ 2 1 に送信され、サーバ 2 1 はホームページで競りの参加者を募る。サーバ 2 1 は参加者の端末から取引日の提示を受信し、依頼者が提示した取引時期条件を最も満たす取引日を提示した参加者に落札させる。

【選択図】 図 6

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [500046564]

1. 変更年月日 2000年 1月31日

[変更理由] 新規登録

住 所 長野県南安曇郡穂高町有明7362-1

氏 名 五井野 正

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☒ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.